

「イオン渋滞学」第1回公開シンポジウム 招待講演

「渋滞学による超異分野研究史 ～理論から社会実践へ～」

全く新しい渋滞学の応用が始まるということでワクワクしております。そこで「温故知新」、皆様のお役に立てるように講演ではこれまでの渋滞学の挑戦の歴史を振り返るとともに、切れ味の良い武器や現実を数理モデルで表すコツなどをお話します。

西成活裕 教授
東京大学



「イオン導電体創成と固体電池構築」

固体中をイオンが拡散する現象を追い求めて、新物質の探索研究が行われている。探索した物質を蓄電池に利用する試みも長年行われて、ようやく実を結ぼうとしている。リチウムが拡散種となる物質系に着目して、物質探索、結晶構造上の特徴とイオン導電性、イオン導電機構、蓄電池へ展開について、研究の歴史と現状、これからの発展を期待を込めて概観する。

菅野了次 特命教授
東京工業大学

